

令和7年度前期

学校評価だより

令和7年8月25日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987 F A X 0258-62-0483

Mail mitsuke.minami-jhs@edu-niigata.ed.jp

Homepage

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

今年度1学期の学校評価アンケートにご協力くださり、ありがとうございました。生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、4月から8月の成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様のご理解とご支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげて参ります。

評価は、目標値に対して、A:「達成」、B:「おおむね達成」、C:「課題がある」としています。

1 知育 「教え合い、学び合いながら、より確かな学びを追求する生徒」

(1) 教育活動

<授業改善、職員研修>



<教え合い、学び合いの推進>



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

① 年3回の国語、数学、英語の基礎学力テストで、80点を上回る生徒が80%以上になる。

75.3%

B

② 学校生活アンケート(7, 12月)の「授業が分かる」生徒が90%以上になる。

88%

B

③ 家庭学習強調旬間で、学年×10分間以上(1年生70分間以上、2年生80分間以上、3年生90分間以上)の家庭学習に取り組んだ生徒が80%以上になる。

1年 68.4%
2年 74.5%
3年 67.8%

B

④ 標準学力調査(CRT)の正答率が全国平均を上回る。

2/15
教科達成

C

⑤ 全国学力・学習状況調査の平均正答率を上回る生徒が80%以上になる。

65.3%

C

⑥ 学期末の評価で、評価が3以上の生徒が80%以上になった教科が8割以上である。

10/15
教科達成

B

(5) 成果と課題

① 標準学力調査(CRT)(4月実施)

この学力調査は、全国値の正答率を50としたときの換算値で受験した学校の正答率を全国値と比較します。全国値に達しなかった学年の教科は、7月までに教科部会で協議し、課題を明らかにしました。

教科	学力調査の結果	課題
国語	1、3年生の正答率は、全国値を下回りました。2年生は、ほぼ同程度でした。	指定された条件で文章を書くことと、説明的文章の読み取りに課題があります。
社会	1、2年生の正答率は、全国値を下回りました。3年生は、ほぼ同程度でした。	重要語句などについて、正確な知識の定着が不十分であるという課題があります。
数学	1、2年生の正答率は、全国値とほぼ同程度でした。3年生は、下回りました。	計算、図形、関数、データの分布の活用に課題があります。

理科	1、3年生の正答率は、全国値を下回りました。2年生は、上回りました。	生命・地球と気象観測と物質・エネルギーに関する分野に課題があります。
英語	1年生の正答率は、全国値とほぼ同程度でした。2年生は、上回りました。3年生は、下回りました。	語形・語法の知識・理解と長文の読み取りに課題があります。

- ② 全国学力・学習状況調査の結果（3年生4月実施）
国語、数学、理科が実施されました。

教科	国語	数学	理科
結果	全国平均正答率を上回りました。	全国平均正答率を下回りました。	全国平均正答率を上回りました。

- ③ 今後の取組・改善点

ア 学力調査やテスト等での結果が全国平均正答率や目標値に達していない現状について更に分析し、対策を決めて推進します。

イ アの分析を受けて、「授業が分かる」ことを実感できる授業改善に全校体制で取り組みます。

ウ 朝学習で文章の読み取りの練習を継続し、問題や解答の条件を確実に理解できる読解力と、文章を読み取る力を身に付けさせます。

エ 放課後の図書室開放を継続し、自主的に学習する場を設定します。

2 徳育 目指す生徒像「他と助け合い、支え合い、豊かな心を求める生徒」			
(1) 教育活動 <体育祭> <合唱コンクール> <いじめ見逃しゼロスクール集会> <あいさつ運動>			
			
			
(2) 成果目標			(3) 肯定的割合
(4) 評価			
①	学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	81.6%	A
②	学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の仕事や役割を責任をもって果たしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	89.9%	A
③	学校生活アンケート（7、12月）で、「道徳の授業で、他者の意見を聞き、自分の考えをまとめることができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	88.3%	A
④	学校生活アンケート（7、12月）で、「学校、家庭、地域で自分から先に挨拶をしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	87.1%	A
⑤	学校生活アンケート（7、12月）で、「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。	90.1%	A

アンケート	質問項目	前期
見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.7%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	72.9%
	協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。	89.0%
南中アンケート	行事の際に目標を意識して行動することができた。	84.5%

- (5) 成果と課題

- ① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」、「自分の仕事や役割を、責

任をもって果たしている」など、「自分のよさ」に関する質問の肯定的評価がA評価でした。

イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合が90.1%と高い数値でした。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか」の肯定的評価の割合が72.9%でB評価でした。一方で「自分の仕事や役割を責任をもって果たしている」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」のような質問の肯定的評価の割合は高い数値でした。決められた役割を果たすことや他人のために何かを行うことについての意識は高いですが、難しいことや困難な状況に立ち向かって挑戦していくチャレンジ精神をもつことが課題です。

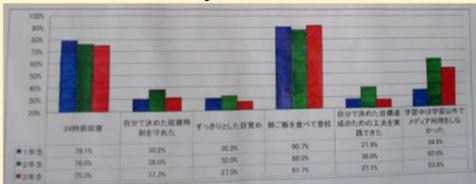
イ 「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価の割合は高いです。しかし、1学期の学校生活では、相手の立場や気持ちを考えず、自己中心的で配慮のない言動やSNSでの誹謗中傷などがありました。日頃の自分の言動を客観的に振り返り、自分を戒める姿勢をもつことや、自他の人権を尊重した言動が具体的にどのようなものであるかを理解すること、いじめは犯罪であり、いじめを見て止めないことも加害者と同じ立場であることを認識することなどが課題です。

③ 今後の取組・改善点

ア 人間関係づくりの活動やソーシャルスキルトレーニングを行い、適切な人との付き合い方を学ぶ機会を、各学年で2学期の初めや全校で月に1回程度設けます。

イ 体育祭や合唱コンクールなどの学校行事を、安全を最優先に考えながら、生徒が主体的に運営するよう計画します。終了後に、Positive Reframing (肯定的な振り返り)を実施し、お互いのよさや貢献を言語化して伝え合い、認め合って感謝する活動を通して、達成感、充実感、自己有用感を高めます。

ウ いじめ事案については毅然として対処し、普段から自他の人権に配慮した言動をとることや、いじめの場面に遭遇したときに適切な行動をとるよう指導します。

3 体育 目指す生徒「命を大切にし、自律的に生活習慣を改善する生徒」				
(1) 教育活動				
<p><中越地区大会></p> 		<p><救急法講習会></p> 		
<p><My 健></p> 				
(2) 成果目標			(3) 肯定的割合	
(4) 評価				
① 学校生活アンケート（7月、12月）で、体力の向上を目指し、保健体育の授業や部活動、昼休みなどの時間に積極的に運動することができた生徒の割合が80%以上になる。			76.0	B
② 学校生活アンケート（7月、12月）で、健康維持のために、23時、遅くても24時までには就寝できるように努力したり、工夫したりすることができた生徒の肯定的評価の割合が80%以上になる。			38.3	C
アンケート	質問項目		前期	
見附市小中学校 共通アンケート	ふだん（月曜～金曜日）何時ごろ起きますか（7時前起床）		83.5%	
	ふだん（月曜～金曜日）何時ごろ寝ますか（24時までには就寝）		96.2%	
My 健結果	24時前就寝を5日間継続できましたか		76.7%	
	自分で決めた就寝時刻を守れましたか		33.2%	

(5) 成果と課題

① 課題として次のことが挙げられます。

A 体力向上

今年度の体力テストでは、県平均を上回った項目は9つにとどまりました。これは、昨年度よりも少ない結果となっています。特に「敏捷性（反復横とび）」や「筋持久力（上体おこし・20mシャトルランなど）」の結果が低く、運動量や体の使い方に課題がみられます。

一方で、7月上旬からの猛暑による熱中症対策のための活動制限や、部活動の地域移行に伴う時間や場所の制限などにより、思うように運動ができない状況が続いていることも事実です。部活動の地域移行が完了した後は、教育活動の中で体力向上を目指す機会が少なくなるため、日常生活の中で「自分でできる体力づくり」を意識する必要があります。

B 生活習慣

学校生活アンケートでは、「健康維持のために23時、遅くても24時までに就寝できるよう努力・工夫できた」と肯定的に回答した生徒は38.3%にとどまりました。また、My健の結果でも「自分で決めた就寝時刻を守ることができた」生徒は33.2%と、自己管理に関する評価もやや低い傾向が見られました。一方、実際の就寝状況に関する調査では、My健の記録では、75%以上の生徒が24時前に就寝しており、見附市共通アンケートでも、96.2%の生徒が24時までに就寝しているという結果が出ています。

これらの結果から、生徒は理想の就寝時刻はイメージできているものの、実際には23時を過ぎてしまうことが多く、睡眠時間が足りていないという状況が伺えます。

② 今後の取組・改善点

A 体力向上

ア 持久力と柔軟性を高める基礎体力メニューを、体育の授業でウォーミングアップに含めて取り組みます。

イ 部活動のある日には、筋持久力と柔軟性を向上させるサーキットトレーニングや動的ストレッチなどのメニューに取り組みめるように、メニューを具体的に掲示します。

ウ 「家庭でできる簡単運動」を紹介します。

B 生活習慣

ア 外部講師を招き、「快眠セミナー」を実施します。セミナーでは、睡眠が心身の健康や学習に与える影響について学びます。

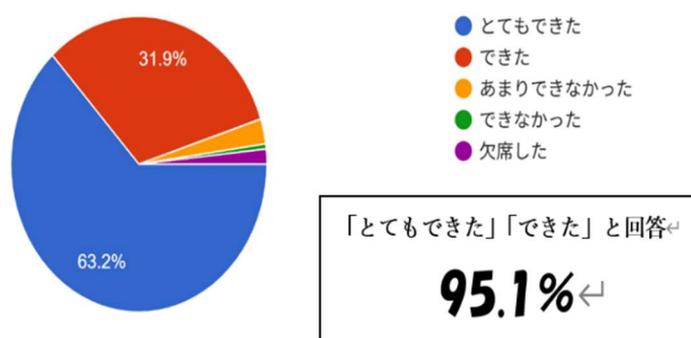
イ My健を通じて、自分の生活を振り返り、改善する取り組みを継続します。

4 地域 「主体的に地域に貢献する活動を通してふるさとを愛する心をもつ生徒」			
(1) 教育活動 <フラワーロード>	<地域貢献活動>	<1人1ボランティア>	<民踊流し>
			
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合	(4) 評価
① 学校生活アンケート（7，12月）で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		72.9%	B
② 学校評価アンケート（7，12月）で、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		91.7%	A
③ 学校生活アンケート（7，12月）で、「自分の住む地域に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動等に積極的に参加することができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		66.7%	B
④ 学校生活アンケート（7，12月）で、「自分の住んでいる地域や見附がすきか」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		90.6%	A
⑤ 学校生活アンケート（7，12月）で、「自分が住む地域の様子（地域の特徴や行事、危険個所など）について理解を深めた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		77.9%	B

R7 地域貢献活動実施直後アンケート

自分の地域に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動に積極的に参加することができた。

182件の回答



【活動に参加した生徒の感想】

- 地域貢献活動が終わったあと、地域の方々に感謝されて、やってよかったと思った。
- 公園を綺麗にして笑顔になった、地域の方々が印象に残った。
- 町内の人みんなで協力してできたことです。
- ずっと掃除をしていないとまた汚れてきてしまうから、定期的に地域での活動を増やすように継続していきたい。
- 今年度はみんなで草を取ったりする場所を分担し、最終的にゴミ袋大が4つ満パンになるほど草取りができたので来年も続けたいです。

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 生徒たちは、人の役に立ちたいという気持ちが育まれています。1人1ボランティア活動(手上げ式ボランティア)や地域貢献活動に取り組みました。

イ 「自分の住んでいる地域や見附がすきか」の肯定的評価が高い。また、地域貢献活動を通して、地域の環境をより良くしたいとの思いをもつ生徒も多く見られました。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」生徒が72.9%という結果でした。生徒の中には、失敗を避ける傾向があります。

イ 「自分の住む地域に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動等に積極的に参加することができた」の結果は、地域貢献活動直後のアンケート結果では95.1%の肯定的評価でしたが、前期学校評価では、肯定的評価が低い結果となりました。これは、地域貢献活動以外の手上げ式ボランティア活動への参加ができなかったことが要因と考えられます。

ウ 地域貢献活動への積極的な参加がみられる一方、手上げ式ボランティアへの参加に課題があります。このことから、やり方が分からないことや初めてのことや一人で知らない人と話したり、その場で指示されたり、任されたりすることに対応したりすることへの不安や心配があるのではないかとすることも推察されます。ボランティア活動に参加し、その楽しさや自己有用感を味わうことを通して、自信をもたせ、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する意欲を高める必要があります。

③ 今後の取組・改善点

ア 学級活動や教科指導を通して、教職員が生徒の失敗を許容する指導の構えをもちます。生徒が安心して自分の考えを述べたり、新しいことや改善したいことを提案したりできる学級風土や授業づくりに取り組みます。

イ 生徒会を中心に「1人1ボランティア活動(手上げ式ボランティア)」の呼びかけを工夫し、全校生徒の地域の行事やボランティアへの参加を促します。

ウ 総合的な学習の時間におけるアントレプレナーシップ教育を通して、自分で企画し、運営する機会を設けるとともに、取組に対する自己評価を通してチャレンジ精神を育みます。

令和7年度前期学校保護者アンケートの御意見について

前期学校保護者アンケートにご回答くださり、ありがとうございました。今後も、皆様からいただいた評価を受けて、教育活動の改善と充実に取り組みます。今後も、保護者、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。(回答はすべてではございません。)

質問・意見・要望	回答
<p>学校から帰ってきて、休む暇がないくらい、宿題、自主学習に時間を取られています。どうにかなりませんか。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。学校では子どもたちの学力の定着と家庭学習習慣の育成を大切に考えております。自主学習についてはノート1ページ分を目安に、「学年×10分間以上」の宿題、家庭学習に取り組むことを目標に指導しています(1年生70分、2年生80分、3年生90分)。過度な負担にならないよう、宿題の量や内容にも配慮してまいります。ご家庭でもお子さんの体調面や家庭学習の内容等に目を配っていただき、ご心配な点等ありましたら、いつでも学校までご相談ください。</p>
<p>宿題をたくさん出してください。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。学校では子どもたちの学力の定着と家庭学習習慣の育成を大切に考えております。自主学習についてはノート1ページ分を目安に、「学年×10分間以上」の宿題、家庭学習に取り組むことを目標に指導しています(1年生70分、2年生80分、3年生90分)。過度な負担にならないよう、宿題の量や内容にも配慮してまいります。ご家庭でもお子さんの体調面や家庭学習の内容等に目を配っていただき、ご心配な点等ありましたら、いつでも学校までご相談ください。</p>
<p>一か月ごとの予定表が出るのが遅いと思います。年間予定表ももらっていますが、変わることもあるので、年間予定表で仕事を休みにして学校に行こうと思っても、曜日が変わったり週が変わったりになってしまっても、すでに仕事が決まっているので休めなくなり行けないとか、ちょっと子どもに悲しい気持ちにさせてしまっているなど思いました。</p>	<p>ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。毎月20日をめどに翌月の予定表を配布しております。年間予定表に示した予定を急遽変更する場合はtetoruでお知らせします。 また、オープンスクールの日程は5月にお知らせしたとおりです。2,3学期は、次の日時で実施する予定です。 ○9月24日(水) 13:40~15:30 5限の授業、終学活、県央地区新人大会激励会 ○11月16日(日) 8:45~15:30 見附子育て教育の日(詳細については、後日お知らせします。) ○2月20日(金) 14:40~15:30(三送会) ご都合が付くときに、ぜひご来校ください。</p>
<p>学校からの「おたより」の文字が小さく、ぎっしり書かれた内容が多く、目の悪い自分には見えづらく読みづらいので改善してほしい。</p>	<p>ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。見やすくわかりやすい情報発信を心掛けてまいります。HPにも日々の情報や、おたよりのデジタル版を掲載しております。こちらもご活用ください。</p>
<p>4月の初めに、校長先生がいじめについて取り上げてくださり、端的でわかりやすい言葉で説明され、生徒にもいじめは絶対にいけないということが伝わったのではないのでしょうか。身近にも中学校でのいじめをきっかけに、思い描いていた高校生活を送ることができず、今でも苦しんでいる方がいます。加害者はもう終わったことと思っているかもしれませんが、いじめを受けた側はその時だけでなく、未来にも暗い影を落としかねません。当事者の様子を注意深く見守り、ケアしてあげてほしいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。いじめが、人の命にもかかわる重大事態につながりかねないことはもちろん、被害を受けた側の心に大きな傷を残してしまう、決して許されない人権侵害であることを、繰り返し指導してまいります。 また、子どもたちが自信をもって、様々なことにチャレンジできる、安心安全な学校生活を守れるよう、これからも努めてまいります。何かお子様のことで気になる様子がありましたら、いつでも学校までご相談ください。</p>